

住宅改修 事例 No.1

空き家でつくる

昭和と令和をつなぐ土壁の家

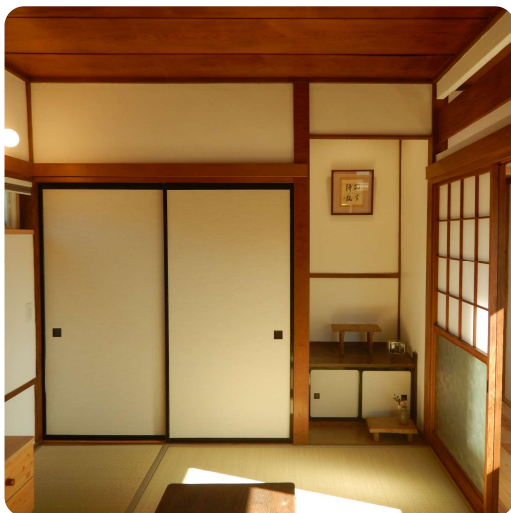




Before



After



住宅改修の強み

◆思いの継承

- ・思い出が詰まった家をこれからも大切に使い続けることができる

◆環境への配慮

- ・新たな資源の消費を抑え、廃棄物の減少が可能

◆地域の景観維持

- ・既存の建物を改修することで、地域の文化や景観を守ることに貢献

◆プロセスの効率化※1

- ・新築に比べて、比較的短期間で完了し、工事に伴う手続きも簡略化できる

◆コスト抑制※1

- ・新築に比べて低コストで実施可能
- ・資金計画が立てやすい

※1 部分改修や全体改修など改修方法によっては当てはまらない場合もあります



改修工事のポイント

■耐震と断熱+気密性（空き家の性能向上）

長く住み続けるためには、耐震性と断熱性が不可欠。住宅の耐震化と併せ外張断熱を施し、暑い・寒いを解消し一年中快適に過ごせる家を目指しました。

■みんなでつくる土壁

時間は掛かりますが、伝統的な工法である土壁を採用。作業は友人や仲間に協力を依頼し、みんなで楽しく土壁づくりを行いました。また、改修前の住宅の壁や屋根に使用されていた土を再利用し、環境に優しい家を作りました。これも住宅改修ならではの良さです。

